

英米世界秩序と東アジアにおける日本

—— 中国をめぐる協調と相克 一九〇六—一九三六

目次

はじめに	1		
序章 自由主義の理念と制約される世界	19		
一 イギリス自由主義と日英同盟	22		
二 イギリス自治領の成立とアジア人排斥問題	28		
三 国際的自由化をめぐる日米関係	36		
四 中国における租界の成立	51		
五 中国における海関と租借地の成立	59		
第一部 対等の地位を目指して	67		
第一章 桂園時代の国家的展望	69		
一 藩閥と政友会の相克	69		
二 国家と社会の合理化を目指して	77		
三 桂園時代の黄昏	88		
第二章 同盟外交と通商条約改定交渉	95		
一 イギリス外交 一九〇五―一九一四	95		
二 日露戦後の日本外交	109		
三 通商条約改定交渉	121		
第三章 革新主義時代のアメリカ	134		
一 ローズヴェルト政権からタフト政権へ	134		
二 ウィルソン政権の始動	147		
第四章 辛亥革命、大正政変とその後の内外情勢の 緊迫化	158		
一 辛亥革命と日本陸軍	158		
二 大正政変をめぐる藩閥と陸軍	162		
三 山本権兵衛内閣期の外交と陸軍	171		
四 第一次世界大戦前の海外移民状況	180		
第五章 第一次世界大戦期の日本の中国外交	189		
一 第一次世界大戦への参戦	189		
二 再考・二十一か条要求	195		
三 反袁世凱政策から西原借款へ	210		
第六章 第一次世界大戦期の日米関係	219		
一 理念と権力の相互関係	219		
二 シベリア出兵をめぐる	232		
第七章 国際連盟の創設	246		
一 準備構想	247		
二 英米関係と国際連盟構想	253		
三 山東半島問題と人種差別撤廃問題	259		
四 山東半島問題をめぐる日米対立	262		
第二部 国際的自立と内外融和への模索	271		
第八章 ワシントン会議から排日移民法の成立へ	273		
一 新自由主義の時代	274		
二 ワシントン条約の成立	281		
三 ヨーロッパ外交、ラテンアメリカ外交、移民法改正	292		
第九章 戦後イギリスの政治理念と外交、帝国戦略	302		
一 帝国の世界的責任	302		
二 新保守主義の内外政策	313		

第十章 日本における政党内閣と内外政策の転換……………	324
一 原敬・政友会内閣と加藤高明・憲政会……………	325
二 加藤友三郎内閣と元老西園寺公望……………	329
三 「憲政の常道」の規範的機能……………	334
四 一九二〇年代の財政、経済、社会政策……………	339
五 幣原外交の始動……………	369
第十一章 北京関税特別会議と北伐への対応……………	376
一 イギリスとワシントン関税条約……………	377
二 北京関税特別会議の焦点と成果……………	381
三 北伐の始動に対して……………	387
四 漢口事件と南京事件……………	397
五 関税条約の成立……………	408
第十二章 陸軍改革運動と張作霖爆殺事件……………	419
一 陸軍の近代化をめぐる葛藤……………	420
二 張作霖への対応をめぐる葛藤……………	429
三 再考・張作霖爆殺事件……………	437
第十三章 米英日の新政権と世界恐慌下の内外政策……………	454
一 フーヴァーの自由主義と内外政策……………	454
二 イギリス労働党政権の自由主義と恐慌対策……………	461
三 浜口雄幸内閣の経済、社会政策……………	467
四 第二次幣原外交の展開……………	473
第十四章 治外法権撤廃交渉……………	483
一 交渉開始に向けて……………	484
二 上海特区法院協定の成立……………	493
三 中国における内乱と欧米行政権、司法権の中立性、政治性……………	503
四 英中仮合意の成立と交渉の中断……………	519
第三部 広域経済圏形成の中で……………	537
第十五章 満州事変の勃発……………	539
一 河本大作復職運動……………	544
二 石原莞爾の関東軍赴任……………	551
三 要人暗殺と政権奪取計画の周辺……………	551
四 満州事変の勃発と十月事件、荒木陸相擁立運動……………	563
第十六章 満州事変期の政治、経済再編と対外関係……………	571
一 日本における陸軍と政界、経済政策の変化……………	571
二 イギリスにおける政治、経済、帝国の再編……………	583
三 スティムソン・ドクトリンの周辺……………	591
四 満州国承認問題とリットン報告書……………	596
五 日本の国際連盟脱退とイギリス外交……………	604
第十七章 満州事変後の対中国政策……………	613
一 満州事変の終結……………	613
二 外務省の中国政策……………	620
三 関東軍の中国政策……………	629
四 広域統制経済圏構想の政治的帰結……………	633
第十八章 帝国領域としての満州国……………	653
一 国制と日本による統制……………	653
二 内地開放、治外法権撤廃、開拓移民……………	660

第十九章 イギリス自由主義とアメリカ自由主義
の相克……………672

一 国際金融、経済政策をめぐる相互不信……………673

二 経済圏の形成と安全保障政策……………683

三 海軍縮小と中国幣制改革をめぐる……………697

四 宥和政策と孤立主義……………704

第二十章 陸軍派閥対立と華北分離工作……………714

一 皇道派の凋落……………714

二 変化への兆候……………721

三 对中国政策の転換……………733

四 華北分離工作の展開……………739

五 華北自治工作と陸軍中央の対応……………749

終章 二十世紀前半の英米世界秩序と日本……………767

一 政治と外交……………769

二 移民、通商政策と経済圏の形成……………776

三 中国をめぐる権益と政策……………782

四 日本陸軍をめぐる政治と中国外交……………785

五 政治指導の格差と理念の相克……………790

注記……………31

文献一覧……………15

研究者・著者名索引……………12

人名索引……………1

図表一覧

図0・1 オーストラリア植民地境界……………31

図0・2 中央アメリカ・カリブ海諸国……………41

図1・1 内外債市価の推移(1902～1920)……………71

表1・1 明治38年～大正5年度一般会計歳出推移……………72

表1・2 明治38年～大正3年度租税収入……………79

表1・3 内外国債の累積……………91

表1・4 日銀券の発券準備……………91

表1・5 日本の国際収支動向……………92

図2 清朝末期の鉄道路線……………107

表4・1 旅券発給数推移……………180

表4・2 地域別旅券発行数……………181

表4・3 在外邦人数……………182

表4・4 在台湾・内地人の職業別人口……………183

表4・5 在朝鮮・内地人職業別人口……………183

表4・6 満州における日本人人口……………184

表4・7 関東州・鉄道付属地における日本有業者の職業別人口の推移……………184

表4・8 累計移民数の上位10県(1899～1932)……………185

表4・9 サンフランシスコ日本人会の事業例……………187

表5・1 21か条要求に関する日中交渉経過……………197

表5・2 21か条要求の各条項交渉経過(第1号)……………199

表 5・3	21か条要求の各条項交渉経過(第2号)	201
表 5・4	21か条要求の各条項交渉経過(第3号)	202
表 5・5	21か条要求の各条項交渉経過(第4号)	202
表 5・6	21か条要求の各条項交渉経過(第5号)	203
図 6	ロシア革命干渉戦争・シベリア出兵関連地図	239
図 7	第一次世界大戦前後のヨーロッパの国境変化	257
図 9	インド帝国の行政区画	311
表 9	非ヨーロッパ地域へのイギリス人船客数(1900～1912)	321
	と移民数(1913～1949)	321
表 10・1	日本の有業者人口産業別構成の変化	339
表 10・2	大正8年～昭和7年度一般会計歳出推移	341
表 10・3	大正6年～昭和7年度歳入および主要租税収入推移	343
表 10・4	日本の国際収支と正貨残高(大正5年～昭和3年)	344
表 10・5	在外正貨の買上と払下推移(大正9年～昭和4年)	344
表 10・6	兌換銀行券限外発行状況	345
表 10・7	小作調停成績	349
表 10・8	富野荘村・白小作地別田畑面積(明治25年～大正11年)	351
表 10・9	富野荘村・平均所得高標準調査(明治25～27年)	353
表 10・10	自作農維持創設融資実績推移(大正15年～昭和11年)	354
表 10・11	工業組合の年度別発達状況	361
表 13・1	ロンドン条約による補助艦保有量	460
表 13・2	昭和5年の日銀券発行高および正貨残高推移	469
表 13・3	失業救済事業費支出額の推移	471
表 16・1	一般会計歳出中、軍事費および土木費推移	578
表 16・2	満州事件公債発行状況	579
表 16・3	歳入補填公債発行状況	579
表 16・4	農村負債整理資金融通実績	581
図 17	塘沽停戦協定関連地図	631
表 17・1	日本の対政治的ブロック別貿易分布	639
表 17・2	日本の対イギリス帝国貿易推移	641
表 17・3	満州国・関東州国際収支	643
表 17・4	対米貿易額推移	643
表 17・5	アメリカへの主要輸出品	645
表 17・6	アメリカからの主要輸入品	645
図 18・1	建国当初の満州国政府組織	655
表 18・1	満州国建国時の政府主要人事	655
表 18・2	満州国官僚の機関別総数と日系占有率	657
図 18・2	満州国財政部の組織と人事 大同2(1933)年	659
表 18・3	満州国の産業関連制定法規	661
図 18・3	満州開拓団入植図	667
表 18・4	満州移民送出数上位県	668
表 19	ニューヨークにおける銀価格(1933～1936)	704
表 20	昭和10年末～11年の中国における日本人殺傷事件	763